



シマダヤグループ
社会・環境報告書

2021

おいしい笑顔をお届けします



シマダヤ株式会社

人事総務部

〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西1-33-11

TEL:03-5489-5511/FAX:03-5489-5507 <https://www.shimadaya.co.jp>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®) で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。



グリーンプリンティング認定制度を取得している工場印刷しています。



印刷時に有害な物質を含む浸し水が不要な、水なし印刷を採用しています。



シマダヤ株式会社は、政府主催の豊かな低炭素社会を目指すキャンペーン「Fun to Share」に参加しています。



おいしい笑顔をお届けします

これは、私たちシマダヤの経営コンセプトです。
たくさんの人に「おいしい!」の笑顔をお届けしたい。
私たちシマダヤは、「安全・安心」でおいしい商品を
皆様にお届けするために、社員一丸となって、
その実現に向け全力で取り組んでいます。

編集方針

本報告書は、当社のISO14001適用事業所において、経営コンセプト「おいしい笑顔をお届けします」を実現するための事業活動を通じた社会・環境取り組みの情報を提供することを目的に発行しています。

報告対象範囲

シマダヤグループのうち、シマダヤ及びISO14001適用事業所である工場を報告範囲としています。

対象期間

2020年4月から2021年3月(活動については直近のものも含む)

発行

2021年9月発行

Contents

P.3	シマダヤグループの事業
P.5	トップメッセージ
P.7	特集 おかげさまで90周年 シマダヤグループは、これからも“安全・安心”な商品をお届けします。
P.9	シマダヤグループ行動規範の実践
P.9	● 規範1 安全な商品とサービスを提供します
P.10	● 規範2 お客様の満足と安心が得られるように最大限の努力をします
P.11	● 規範3 法令を遵守し社会的理念に則った企業活動を進めます
P.12	● 規範4 地球環境問題に積極的、自主的に取り組みます
P.16	● 規範5 安全で働きやすい職場環境の確保に努めます
P.17	● 規範6 よき「企業市民」として積極的に社会貢献活動を行います
P.18	第三者意見

ウェブサイトのご案内

シマダヤのウェブサイトでは、本報告書をダウンロードいただける他、商品に関する情報など様々な関連情報をご紹介します。

<https://www.shimadaya.co.jp>


めんのシマダヤ



シマダヤグループの事業

シマダヤは、1931年の創業以来、めん製造業界のリーディングカンパニーとして「めん」を通して日本の食文化の発展に広く貢献してまいりました。私たちが独自の技術を磨き、安全で安心かつ魅力ある商品を作り続けるのは、お客様の「おいしい笑顔」が見たいからです。

これからもお客様の健康で豊かな食生活に一層貢献できる企業でありたいと願い、皆様に愛され信頼される「シマダヤ」を目指して、社員一丸となってその実現に向け全力で取り組んでまいります。

シマダヤ

お客様

シマダヤのCIマーク


シマダヤのCI(コーポレートアイデンティティ)マークは、「お客様とシマダヤをおいしい笑顔で結ぶ」という意味を表しています。2つの円は、お客様とシマダヤの「心のクロスコミュニケーション」を意味しています。中央の笑顔は、「作る喜び・食べる喜び・お客様の笑顔」を表現しています。

事業内容


シマダヤは、**家庭用事業**、**業務用事業**の分野で事業を展開しています。お客様のニーズや用途にあった商品を幅広く取りそろえ、より多くのお客様へ「おいしい笑顔」をお届けするため、おいしく楽しい食シーンをご提案しています。

家庭用事業

チルド麺と冷凍麺を中心に、うどん・そば・ラーメン・冷し中華・焼そばなど、素材麺から具付き麺まで、バラエティ豊かな一般家庭用麺を、主にスーパーマーケット・小売店・コンビニエンスストアなどで販売しています。



「流水麺」そば
さっと水でほぐすだけで食べられる、ゆでる必要のないそばです。風味豊かなそば粉を使用し、のどごしと歯切れの良さ、そばの味わいが楽しめます。




冷凍「健美麺」食塩ゼロ稲庭風うどん 3食
国産小麦粉を使用した、のどごしのよさと強いコシが特長の、からだにやさしい食塩ゼロのうどんです。凍ったまま半分に分けて使える<ミニダブル>製法です。

業務用事業


うどん・そば・ラーメン・パスタを中心とした冷凍麺を、従業員食堂や学校給食、高速道路のサービスエリアをはじめとした外食産業、惣菜や持ち帰り弁当などの中食産業などに向け販売しています。また、国内だけでなく、東南アジア、北米、EU、オセアニアなどの国や地域には外食市場向けの冷凍麺などを輸出しています。



北海道産そば使用 石臼挽きそば<ミニダブル>
石臼を用いて製粉したそば粉を使用した、そばの香りと甘みが味わえる、なめらかで歯切れの良いそばです。そばの生産量が日本一の北海道産そばを使用しています。



「真打」北海道産小麦粉使用太打ちちぢれ中華めん<ミニダブル>
北海道産小麦粉を使用し、透明感のある黄色みの強い色調と、コッコツとした硬さが特長のラーメンです。



輸出用「真打」稲庭風うどん<ミニダブル>
稲庭うどんの艶となめらかさをモチーフにした、なめらかなのどごしが特長の細目のうどんです。

シマダヤグループ行動規範

1 安全な商品とサービスを提供します

2 お客様の満足と安心が得られるように最大限の努力をします

3 法令を遵守し社会的理念に則った企業活動を進めます


4 地球環境問題に積極的、自主的に取り組みます

5 安全で働きやすい職場環境の確保に努めます

6 よき「企業市民」として積極的に社会貢献活動を行います

シマダヤグループ概要 ISO14001適用事業所(2021年9月現在)

代表取締役社長
木下 紀夫



シマダヤ株式会社

設立 1949年3月
資本金 10億円
代表者 代表取締役社長 木下 紀夫
従業員数 323名(2021年3月末時点)
事業内容 種類及び関連食料品の販売
所在地 東京都渋谷区恵比寿西1-33-11
売上高 311億円(2021年3月期)
事業所数 本社1、支店3、ロジスティクスセンター1、開発研究所1
登録日 2004年7月16日




本社

シマダヤ西日本株式会社

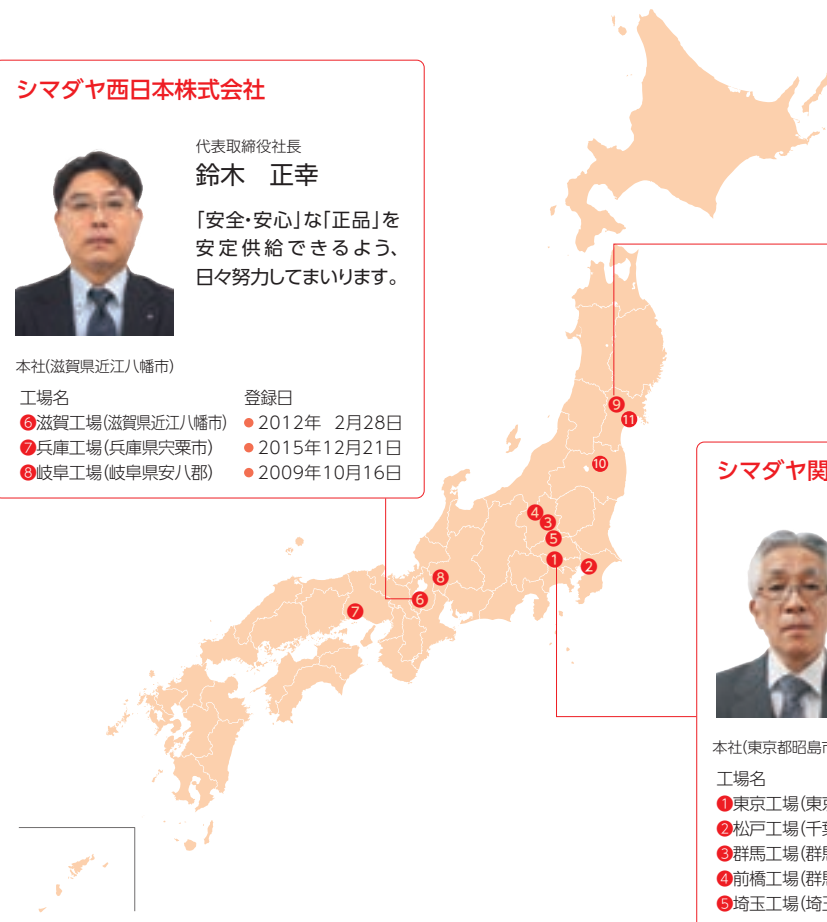
代表取締役社長
鈴木 正幸

「安全・安心」な「正品」を安定供給できるように、日々努力してまいります。



本社(滋賀県近江八幡市)


工場名	登録日
① 滋賀工場(滋賀県近江八幡市)	● 2012年 2月28日
② 兵庫工場(兵庫県宍粟市)	● 2015年 12月21日
③ 岐阜工場(岐阜県安八郡)	● 2009年 10月16日



シマダヤ東北株式会社

代表取締役社長
紺野 賢一

「安全・安心」な商品作りを最重要課題と位置づけ、日々努力を続けております。



本社(宮城県大崎市)

工場名	登録日
① 古川工場(宮城県大崎市)	● 2009年 3月23日
② 郡山工場(福島県本宮市)	● 2009年 3月23日
③ 仙台工場(宮城県仙台市)	● 2015年 12月21日

シマダヤ関東株式会社

代表取締役社長
相澤 享

「安全・安心」を重点課題とし、環境貢献への取り組みを実行します。



本社(東京都昭島市)

工場名	登録日
① 東京工場(東京都昭島市)	● 2004年 7月16日
② 松戸工場(千葉県松戸市)	● 2009年 10月16日
③ 群馬工場(群馬県前橋市)	● 2011年 2月28日
④ 前橋工場(群馬県前橋市)	● 2010年 2月23日
⑤ 埼玉工場(埼玉県深谷市)	● 2010年 11月30日

3

シマダヤグループ 社会・環境報告書 2021

シマダヤグループ 社会・環境報告書 2021

4

築き上げてきた経営基盤を守りながら

新たな成長戦略で

環境変化を克服していきます。

コロナ禍の影響で市場が大きく変化 経費の削減策により、増益を確保

2020年度は、現在も続く新型コロナウイルス感染症の影響で市場が大きく変化し、シマダヤグループとしても想定外の状況となった1年間でした。

緊急事態宣言の発令により、時短営業・休業の要請を受けた外食産業などの需要が減少し、その後も要請が繰り返される中で、業務用冷凍麺の売上が大幅に減少しました。家庭用チルド麺・冷凍麺は、外出自粛や在宅勤務、休校などによって内食機会が増加し、主にブランド商品の売上が拡大しましたが、主力商品の「流水麺」は、販売店への営業・販促活動を抑制したため、十分な売場展開ができず、売上が減少しました。また感染拡大当初は、家庭内で喫食する機会が増え、家庭内食の需要が高まったことからチルド麺の生産が一時逼迫し、欠品・休売を招きました。

社内では、2020年3月に「緊急事態対策本部」を立ち上げ、グループ全体で感染防止策を徹底しつつ事業を継続し、食品メーカーとしての供給責任を果たす方針を打ち出しました。そして売上減少の中で利益を確保すべく、広告宣伝費・販促費など、あらゆる経費の削減に努めました。

結果として2020年度の業績は、売上高が前期比で約1割減少しましたが、利益面は経費削減策が奏功し、増益を確保することができました。

外部・内部の環境変化を克服すべく 先を見据えて成長戦略を見直し

コロナ禍は、私たちの社会を一変させ、不可逆的な流れを生み出しました。シマダヤグループの経営環境においても、外部的及び内部的に著しい変化が生じ、先を見据えた成長戦略の見直しが求められています。

外部環境の変化では、外食市場が深刻な打撃を受け、業務用冷凍麺の需要回復が困難な状況となっています。デリバリーやテイクアウトによる新たなニーズも生まれていますが、今後の競争激化は不可避と思われます。一方、小売市場では、コロナ禍で顕在化したニーズ「5K」（健康・簡便・高品質・経済性・買い置き）の商品が伸長しています。特に健康ニーズは、コロナ禍を機に人々の健康意識が更に高まり、食塩ゼロや糖質カットを打ち出した商品の販売拡大につながっています。

内部環境の変化では、対人接触機会を減らさなければならぬことが事業活動に影響を及ぼしています。全国の支店・工場から本社に集合して行う報告会や会議が実施できず、営業面では商談や店舗回訪などの抑制により、従来と異なるやり方が必要になってきました。

成長戦略の見直しにおいては、こうした構造変化の中で、工場の稼働率を高めるべく生産量を確保し、今まで築いてきた経営基盤を守りながら、全社的な効率化・合理化を進めることが重要になると認識しています。

社会・環境活動と事業の一体化に向け 食品メーカーとしてSDGsテーマを実践

中期環境目的・目標にもとづく2020年度の取り組みは、「有益な環境影響（健康、簡便、安全・安心等）をもたらす商品の開発と拡売」において一部未達成となりましたが、その他の重点テーマについては、全て達成しました。特に「廃棄物の削減と有益な環境影響（省エネ・省資源等）をもたらす活動の実行」では、物流効率化やトレー容器の軽量化によって、私たちが注力してきたCO₂排出量の削減を更に推し進めています。

今後は、社会・環境活動と事業の更なる一体化に向けて、食品メーカーとして当社が対応すべきSDGsテーマを見極め、実践していきます。具体的には、フードロスの削減と健康寿命の延伸への寄与を重視しており、現在進めている賞味期限の延長や年月表示への変更、「健美麺」シリーズの開発・提供を中心に、取り組みを拡げていく考えです。

2021年度は、3年にわたる中期経営計画及び中期環境目的・目標を締め括る年となります。2022年度以降の次期中期経営計画については、今後策定を進めていきますが、中期環境目的・目標とも連動していく予定です。経営環境が激しく変化する中、過去の延長では企業として存続できないことを認識し、的確な現状分析をもとに展望を描いていきます。

代表取締役社長

木下 紀夫



創業90年の歩みを支えていただいた 全ての皆様に感謝し、更なる発展へ

シマダヤグループは、2021年7月20日に創業90周年を迎えました。これまでの発展は、シマダヤの商品をご愛顧いただいたお客様、事業を支えていただいたお取引先様ならびに仕入先様のおかげであり、長年にわたるご支援に対し、心より御礼申し上げます。

そして会社の歴史を築き、多くの苦難を克服してきた先輩方と全ての従業員に深く感謝いたします。

ここに述べてきました経営環境の大きな変化の最中であって、社内には緊張感を持ちながらも、90年の歩みに裏打ちされた自信と安定感を共有し、未来に向けた持続的成長への想いを新たにしています。これからも世の中に必要不可欠な企業として存続し、より社会的に貢献していくために、私たちは経営コンセプト「おいしい笑顔をお届けします」を実践しながら、先をしっかりと見据えて前進してまいります。

特集

おかげさまで90周年

シマダヤグループは、
これからも

“安全・安心”な商品をお届けします。

2021年7月20日、シマダヤは創業90周年を迎えました。
シマダヤは創業当時から、お客様においしくて安全な商品をお届けし、
安心してお召し上がりいただくことを大切にしてきました。
創業以来、シマダヤグループが取り組んできた“安全・安心”の取り組みをご紹介します。

おかげさまで90周年

1931

創業者 牧清雄が
「島田屋商店」を開業



創業者の牧清雄 (17歳の頃)

1959

包装技術への取り組みと特許取得

衛生的かつ見栄えの良い形で商品
を売ることを目的に麺の包装技術の進化に取
り組み、1959年に包装処理方法に関する
2つの特許を取得しました。



当時の包装麺の生産風景

2020

FSSC22000認証取得

更に商品の「安全・安心」への信頼性を高め、
レベルアップしていくため、FSSC22000 認
証取得への取り組みを開始し、2015年3月
岐阜工場を筆頭に、2020年2月には兵庫工
場で認証取得し、全グループ工場が登録され
ました。



FSSC22000登録証

2011

「シマダヤ品質基本方針」を制定

お客様へ安全な商品と
サービスを提供するた
めの行動規範として、
「品質理念」、「品質基本
方針」を明文化した「シ
マダヤ品質基本方針」
を制定しました。当方
針では「品質」を商品
の品質としてだけで捉
えず、組織や活動の質
と定義しています。



シマダヤ品質基本方針

2004

トレーサビリティシステムの構築

安全・安心な製品づくり
のために、原材料、製造、
物流の履歴を管理するト
レーサビリティシステム
を構築しました。



ロジスティクスセンター

1998

シマダヤHACCPの基準策定

食品の衛生管理手法として、HACCP
導入への取り組みを開始し、Codex (国
際食品規格)のガイドラインに基づい
てシマダヤHACCPの基準を策定し、
各工場への指導や認定、適合審査を行
いました。



検品の様子

1980

開発研究所の開所

更に安全・安心な商品作り
に組み込むため、1980年
に、開発研究所を開所し
ました。開発研究所では
商品開発の他、安全・安
心な商品を提供するた
めの製品検査や特許・技
術研究にまつわること
などを行っています。



当時の開発研究所

1963

完全包装麺開発による衛生面の向上

1963年には、ポリエチレンで密閉包装
した麺を蒸気殺菌し、常
温で日持ちのする完全
包装麺を開発しました。
また、その全ての工程
を自動化する日本初の
完全包装麺専用工場を
建設し、衛生面を向上
させました。



当時の完全包装麺

1983

「グリーン&コールドシステム」の実現

お客様の安全・安心や信頼を重視し、衛生
管理方法を、冷蔵保存の包装麺は新たに
開発した「グリーン&コールドシステム」
に、常温保存可能な完全包装麺は乳酸処
理方法に切り替えました。1983年には、「ク
リーン&コールドシステム」を実現した近
代的製麺工場が完成しました。



「グリーン&コールドシステム」の
コンピューター制御室

「グリーン&コールドシステム」とは
加熱殺菌を必要としない製法で、微生物
を付着させないための徹底した衛生管理
下での製造、冷却水で冷した後の冷蔵保
存、そのままの状態での輸送を特長とし
ています。



シマダヤグループ 行動規範の実践

シマダヤグループ行動規範とは、経営コンセプトの「おいしい笑顔をお届けします」の精神を具体的に行動に移す際、守るべき重要な事項を、主にコンプライアンスの観点からまとめたものであり、シマダヤグループのあらゆる事業活動において優先されます。行動規範はシマダヤグループ従業員に携帯用カードとして配布され、日々の活動で実践しております。また、当社では事業活動のなかでSDGs（持続可能な開発目標）への貢献に関連する取り組みが行われています。実際にどのような点がSDGsのターゲットの実現に貢献しているのか、当社の行動規範と紐づけてご紹介いたします。



「SDGs（エスディージーズ）」とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で決められた、国際社会共通の目標です。SDGsには17のゴールがあり、更に、それを実現するために必要な169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



規範 1 安全な商品とサービスを提供します

シマダヤグループでは、食品メーカーとしてお客様に安全・安心な商品をお届けする責任を果たすために、グループ全体で安全・安心の取り組みを推進しています。

シマダヤの品質に対する考え方

シマダヤグループでは、「シマダヤ品質基本方針」に基づき、日々の活動に取り組んでいます。当方針では品質を商品の品質としてだけでなく、組織や活動の質と定義しています。社員一人ひとりが「品質」を意識し、お客様への安全な商品とサービスの提供を何より優先することが重要であると考えています。



安全・安心な製品づくり

シマダヤグループ工場では、商品の安全・安心への信頼性を高めるため、国際的な食品安全マネジメントシステムであるFSSC22000に取り組み、全11工場で認証を取得しております。

安全・安心な製品をお届けするために、異物除去装置の導入・運用といったハード面だけでなく、従業員教育を通じた衛生意識の向上など、ソフト面の取り組みも重要と捉えて取り組んでいます。

安定生産し、安全・安心な製品を作っていきます

シマダヤ西日本(株)岐阜工場は、2015年3月にFSSC22000の認証を取得し、全従業員で力を入れて安全・安心な製品作りへの取り組みを進めています。管理職を中心に、従業員一人ひとりが保全活動を強化することで、機械由来によるトラブル停止が減少し、廃棄物の削減にも繋がっています。今後は電気関係部品の交換にも力を入れ、安定生産に努め、安全・安心な製品をお届けしてまいります。

シマダヤ西日本(株)
岐阜工場
松原 清吉



規範 2 お客様の満足と安心が得られるように 最大限の努力をします

シマダヤグループでは、お客様に満足し、安心していただけるよう、お客様のご意見やニーズを大切にしています。

お客様の声への対応

シマダヤグループでは、お電話、お手紙、メールなどで寄せられるお客様からの様々なご質問に対し、迅速かつ正確にお応えすることを心掛けています。お客様からいただいた貴重なご質問やご意見は、日報やお客様相談室通信などにより関連部門に伝え、より良い商品づくりに活かしています。2020年度はお客様からいただいた商品へのご要望を受け、次の改良を行いました。

① 「鉄板麺」の麺をほぐれやすく改良しました。

お客様が焼そばを調理する際にご不満を感じる「めんがほぐれにくい」ことに対し、「鉄板麺」の特徴であるもちもちとした麺の食感そのままに、ほぐれやすさを改良し、調理のしやすさを実現しました。



「鉄板麺」お好みソース味

② 「もみ打ち」ざる麺シリーズのつゆを増量しました。

お客様から寄せられた「「もみ打ち」ざる麺のつゆを多くして欲しい」というご意見に対し、つゆの量を10%アップ*しました。

*当社品「もみ打ち」ざる麺（2020年度版）1食当たりの標準値との比較



「もみ打ち」ざる麺 香味めんつゆ

お客様の声を商品作りに活かしています

企画部では、お客様から日々寄せられる様々なお問い合わせに対して、日報やお客様相談室との打合せを通して情報を収集し、商品作りに活かしています。その中でも、「ざる麺」を食べる際につゆが足りなくなるといった声が多く寄せられていた為、つゆを増量し、お客様のニーズにお応えしました。また、パッケージでつゆを増量したことを訴求し、お客様に分かりやすくお伝えしています。今後もお客様から寄せられるご意見やご要望を大切に、より良い商品作りに努めてまいります。

企画部
精松 一也



国産原材料の使用推進

シマダヤグループでは国産の小麦粉やそば粉を使用した商品づくりに取り組んでいます。

国産小麦粉を使用した商品は家庭・業務用あわせて48品(2021年9月現在)ラインアップしています。また、そばの作付面積日本一の北海道産のそばを使用した商品も揃えています。



「真打」稲庭風細うどん 1食



冷凍北海道産そば使用 石臼挽きそば 3食



「真打」国産小麦もちもちうどん <ミニダブル>



北海道の味めぐり「時計台」らーめん 濃厚醤油味 2食

2020年10月～11月には農林水産省が推奨する「#元気いただきますプロジェクト」を応援する取り組みとして、国産新そば粉を使用した「流水麺」そば2人前を期間限定で発売しました。



期間限定
パッケージ

国産新そば粉使用「流水麺」そば 2人前

お客様のニーズに応える商品開発

シマダヤは変化する社会・環境や、お客様の志向に対し、健康・簡便・高品質・経済性・買い置きのお客様のニーズとして捉え、商品開発に取り組んでいます。

コロナ禍によるお客様の健康意識の高まりに対しては、食塩ゼロや糖質カットなどの「健美麺」を家庭用・業務用で展開しています。また、内食頻度の増加に対しては、「流水麺」などの簡便商品、買い物頻度の減少に対しては、「長持ち麺」などの買い置き商品をラインアップしています。



規 範 3 法令を遵守し社会的理念に則った企業活動を進めます



シマダヤグループでは、各種規程・制度を整備し、コンプライアンスの促進・徹底を図っています。

リスクマネジメントの推進

シマダヤグループでは、企業として存続・発展するために、その障壁となるリスクを正確に把握し、危機発生時の損失を極小化するリスクマネジメントに取り組んでいます。

シマダヤグループ全体で、コンプライアンスを含めて想定されるリスクを洗い出し、リスクの発生要因を排除・削減するための実行計画を策定し、取り組みを推進しています。

コンプライアンス教育の実施

シマダヤ(株)では、コンプライアンス（法令遵守、ハラスメントの防止など）の強化を図るため、コンプライアンス教育を実施しています。2020年度はシマダヤ(株)の全従業員が、「企業・倫理コンプライアンス」について、全基幹職が「職場のメンタルヘルスケア」についてのeラーニングを受講しました。また、希望者に対し「独占禁止法」や「食品表示偽装」など当社に関わるコンプライアンス関連のeラーニングを開講しました。

シマダヤグループ内部通報制度

シマダヤグループでは、法令遵守や、ハラスメント防止などを徹底するため内部通報制度を設けています。また、内部通報制度を機能させるために、連絡先の発信や、携帯カードの配布、ポスターの掲示などを行い、従業員への周知徹底を図っています。

規 範 4 地球環境問題に積極的、自主的に取り組みます



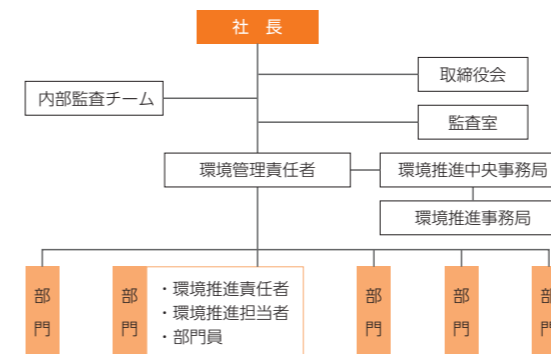
シマダヤグループでは、気候変動の抑制や廃棄物の削減に貢献するため、省エネ・省資源や食品ロスの削減など、環境負荷の低減に取り組んでいます。

シマダヤグループ環境マネジメントシステム

シマダヤグループでは、「シマダヤグループ環境基本方針」のもと中期環境目的・目標を掲げ、それを達成させるために、各部内で業務に沿った目的・目標を設定し取り組んでいます。

シマダヤグループ環境基本方針							
環境理念	小麦とそばと塩と水。「めん」は自然の恵みそのものです。シマダヤグループは、自然環境と企業活動の調和の重要性を認識し、めんを中心とする事業活動を通して環境保全に取り組み、健全で豊かな社会の実現に貢献します。						
環境行動指針	<table border="0"> <tr> <td> 1. 環境関連法規の遵守 社会の一員として環境保全に取り組み、環境関連の法規制その他の要求事項を遵守します。 </td> <td> 4. 環境保全意識の醸成 情報収集及び教育を積極的に行い、従業員一人ひとりの環境に対する意識の向上に努めます。 </td> </tr> <tr> <td> 2. 資源、エネルギーの有効利用 資源、エネルギーの節約、有効利用に取り組みとともに、廃棄物の削減、再資源化により環境への負荷の低減に努めます。 </td> <td> 5. 情報の公開 環境基本方針及び環境保全活動に関する情報を広く社内外に開示します。 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 3. 継続的な環境改善 事業活動のあらゆる面において環境に配慮し、絶えず見直し、継続的な改善に努めます。 </td> </tr> </table>	1. 環境関連法規の遵守 社会の一員として環境保全に取り組み、環境関連の法規制その他の要求事項を遵守します。	4. 環境保全意識の醸成 情報収集及び教育を積極的に行い、従業員一人ひとりの環境に対する意識の向上に努めます。	2. 資源、エネルギーの有効利用 資源、エネルギーの節約、有効利用に取り組みとともに、廃棄物の削減、再資源化により環境への負荷の低減に努めます。	5. 情報の公開 環境基本方針及び環境保全活動に関する情報を広く社内外に開示します。	3. 継続的な環境改善 事業活動のあらゆる面において環境に配慮し、絶えず見直し、継続的な改善に努めます。	
1. 環境関連法規の遵守 社会の一員として環境保全に取り組み、環境関連の法規制その他の要求事項を遵守します。	4. 環境保全意識の醸成 情報収集及び教育を積極的に行い、従業員一人ひとりの環境に対する意識の向上に努めます。						
2. 資源、エネルギーの有効利用 資源、エネルギーの節約、有効利用に取り組みとともに、廃棄物の削減、再資源化により環境への負荷の低減に努めます。	5. 情報の公開 環境基本方針及び環境保全活動に関する情報を広く社内外に開示します。						
3. 継続的な環境改善 事業活動のあらゆる面において環境に配慮し、絶えず見直し、継続的な改善に努めます。							
2004年1月19日制定 2008年6月25日改訂 シマダヤ株式会社 代表取締役社長 木下 紀夫							

環境推進体制



活動の推進役と役割

推進役	役割
全社の推進役	社長: 全社の活動の最高責任者 (シマダヤの代表取締役) 環境管理責任者: 全社の活動の責任者 環境推進中央事務局: 環境管理責任者の補佐 環境推進事務局: 環境推進責任者、環境推進担当者の補佐
部門の推進役	環境推進責任者: 部門活動の責任者 (活動の単位の部門長、グループ会社は工場長) 環境推進担当者: 部門活動のリーダー

※ 部門単位で活動を推進しており、環境マネジメントシステム上では、グループ会社は工場単位で1つの部門として活動しています。

シマダヤグループ中期環境目的の方針 (2019年度～2021年度)

グループ全体方針 「安全・安心、環境に配慮した商品で、おいしい笑顔をお届けします」
～一人ひとりが、仕事や生活の中で環境のことを考えた行動をします～

- | | | |
|---|--|---|
| 生産物流本部方針
.....
廃棄物(スープ、具材、原料を含む)の削減と有益な環境影響(省エネ・省資源等)をもたらす活動をします | 営業本部、開発研究所方針
.....
有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発・拡売をします | 管理部門方針
.....
有益な環境影響(業務の生産性向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等)をもたらす活動をします |
|---|--|---|

中期環境目的・目標 2020年度取り組み報告

重点テーマ1 廃棄物(スープ、具材、原料を含む)の削減並びに 有益な環境影響(省エネ・省資源等)をもたらす活動の実行

中期環境目的	2020年度実績
工場の廃棄物(スープ・具材・原料を含む)の削減(2018年度原単位比で27%削減)	<ul style="list-style-type: none"> ● 2020年度は2018年度原単位比18%削減という目標に取り組み、41.9%削減で目標達成となった。 ● 設備トラブルや人的ミスなどの廃棄要因に対し、保全活動の推進や廃棄物削減プロジェクトでの対策、従業員教育などを実施したことにより廃棄を削減した。
SLC及び冷凍倉庫の廃棄物(スープ・具材を含む)の削減(2018年度重量比37%削減)	<ul style="list-style-type: none"> ● 2020年度は2018年度重量比24%削減に取り組み、33.7%削減で目標達成となった。 ● 営業部門との情報共有による見込み精度の向上や、在庫の販売促進が削減に繋がった。
有益な環境影響(省エネ・省資源等)をもたらす活動の実行	<ul style="list-style-type: none"> ● 共同配送や仕入れ便の積載効率改善など物流の効率化、トレー容器の軽量化などにより、CO₂排出量を削減した。 ● 電子印鑑システムの導入や、業務のRPA化などにより紙の使用量や業務時間を削減した。

重点テーマ2 有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発・拡売

中期環境目的	2020年度実績
有益な環境影響(健康、簡便)をもたらす商品の拡売によるシマダヤブランドの向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境配慮型商品の拡売に取り組んだが、コロナ禍での営業活動の制限や外食自粛などにより目標未達成となった。
有益な環境影響(健康、簡便、安全・安心等)をもたらす商品の開発・拡売によるシマダヤブランドの向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 「健美麺」糖質30%カット本そばや「流水麺」冷し中華など、健康・簡便価値商品を開発した。 ● 新たな原料原産地表示制度に対応した表示への切替や、HPへの原料原産地情報の掲載を実施した。

重点テーマ3 有益な環境影響(業務の生産性向上、環境教育の推進、 コンプライアンスの徹底等)をもたらす活動の実行

中期環境目的	2020年度実績
有益な環境影響(業務の生産性向上、環境教育の推進、コンプライアンスの徹底等)をもたらす活動の実行	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務のRPA化や新経費精算システムの運用などを推進した。 ● 文書類のペーパーレス運用を進め、紙の使用枚数を削減した。

環境に配慮した商品開発 ～バイオマスインキの採用～

シマダヤグループでは、環境に配慮した商品開発に取り組んでいます。

2020年度は、パッケージに使用しているインキに着目し、一部の商品で石油由来原料を用いたインキから、環境負荷低減に繋がる植物性由来の原料を使用したバイオマスインキの採用を開始しました。

CO₂ 排出量
6.9%
削減
(1パック当たり)

このパッケージのインキは、植物由来原料を一部使用しています。

食品ロスへの取り組み

シマダヤグループでは、食品ロスに対し生産工場・研究開発部門・企画部門など様々な部門で取り組みを推進しています。

廃棄物の削減活動に取り組んでいます

シマダヤ関東(株)群馬工場では廃棄物の削減に向けて取り組みを進めています。2020年度は軽過量による廃棄に対し、各部署が次の工程にいかん状態の状態で製品を渡せるか、その為に何が課題で何をすれば良いのかを、過去の手法に捉われず、視点を変え検討してきました。そこで抽出した課題を一つずつ解決していった結果、目標に対し大きく削減できました。

今後、更に廃棄物の削減を実現するために、細かな廃棄にも注視してまいります。また、全従業員が「もったいない」という意識を持ち、現場主導は崩さず廃棄物削減活動に取り組んでまいります。



賞味期間の延長に取り組んでいます

研究開発部では、ご家庭や店舗での賞味期限切れによる食品ロスを防ぐ為、賞味期間の延長に取り組んでいます。流水解凍で食べられる「α麺」は、一定期間経過後の冷凍焼け(局所的な水分蒸発)を発生させないため、賞味期間を6ヶ月に設定しておりました。また、「α麺」のうち、季節終売する商品では、賞味期限の短さによる食品ロス発生が課題になっていました。これらを改善するために、様々な保存検証を重ねて、品質に問題がないことを確認し、「α麺」の賞味期間を9ヶ月に延長することが出来ました。これからも食品ロス削減を意識し、貢献してまいります。

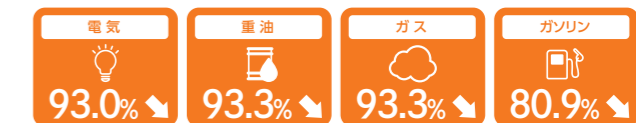


省エネ・省資源の取り組み

シマダヤグループでは、日々の業務において省エネ・省資源に取り組んでいます。生産工場では、廃熱回収装置の導入によるガス使用量の削減や、屋根遮熱塗装による電力使用量の削減のほか、従業員教育や業務効率の改善などの取り組みを行っています。またシマダヤ(株)では、クールビズや電子印鑑によるペーパーレスなどを推進しています。

それらの取り組みを数値化するために、シマダヤグループでは環境会計を作成しています。

●シマダヤグループ2020年度資源使用量の前年比 (2020年度シマダヤグループ環境会計より)



熱交換効率向上により ガス使用量を削減しました

シマダヤ東北(株)古川工場では、ガス使用量の削減に向けて、冷凍ライン茹工程の構造を改めて理解する事から始めました。

各蒸気・水配管系統がそれぞれの様に供給・排水されているのか分析したところ、工程の中で温水が常時排水されている事に気付きました。その温水を熱交換器補給水サブタンクで有効利用する事で水温を上昇させ、熱交換後の温水の水温を上昇させる事が出来、茹湯の沸騰に必要な熱量を削減させる事が出来ました。

2021年度も蒸気流量の管理や排熱蒸気の有効活用などの改善活動を推進してまいります。



輸配送の効率化に取り組んでいます

物流企画部では、物流段階でのCO₂排出量削減の為、輸配送の効率化に取り組んでいます。チルド麺工場からロジスティクスセンター間は大型車両の使用を推進し(大型車1台=中型車3台分)車両数を削減、ロジスティクスセンターから各エリアの物流拠点間は積載量を標準化し、増便を抑制しています。冷凍麺工場からはお取引先様のデポへ直送し、工場から物流拠点間の輸送を省略することで効率化を実施しています。

今後も効率的な物流を推進するため、社内外の方と協働していきます。



2020年度「社会・環境活動表彰」

2012年度より、従業員一人ひとりの社会・環境活動に対するモチベーションの向上を目的として「社会・環境活動表彰」を実施しています。2020年度の活動においては、グループ全体で40件のエントリーの中から、5件が表彰されました。シマダヤグループは引き続き、身近な取り組みをはじめ、グループ全体に広がりのある社会・環境活動の活性化を図ってまいります。



表彰状授与の様子

●2020年度「社会・環境活動表彰」

表彰者	活動内容
1 企画部 商品企画課	商品パッケージへのバイオマスインキ採用によるCO ₂ 削減
2 経理部	新経費精算システムの導入による業務効率化
3 シマダヤ関東(株)前橋工場 製造部 製造一課 麵機室	マニュアルの整備・運用による人的ミスの削減
4 シマダヤ西日本(株)兵庫工場 製造課	煮沸槽の作業環境改善による安全性向上及び重油使用量の削減
5 シマダヤ東北(株)古川工場 製造一課	熱交換効率向上によるガス使用量削減

マニュアルの整備・運用による人的ミスの削減に取り組みました

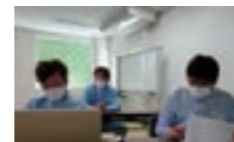
シマダヤ関東(株)前橋工場では、切り出し時の麺厚の誤差による廃棄が多く発生していました。そこで麺厚測定器の導入やマニュアルの整備・運用に取り組みました。その結果、切り出し量目を合わせることで、切り出し廃棄が減少し、安定稼働につなげることが出来ました。



シマダヤ関東(株)前橋工場 富澤 由樹

コロナ禍に対応した環境マネジメントシステムの推進

シマダヤグループでは、コロナ禍での感染予防対策を行いながら環境マネジメントシステムを推進させるため、web会議システムを活用したリモートでの環境取り組みを行いました。2020年度は環境推進担当者・事務局会議や内部監査員研修などの会議体や、一部の部門の内部監査をリモートで実施しました。



リモート内部監査の様子



リモート内部監査員研修の様子

ISO14001:2015の認証継続が承認されました

シマダヤグループでは、2003年より環境取り組みを開始し、2004年にシマダヤ(株)と東京シマダヤ(株)(現 シマダヤ関東(株)東京工場)でISO14001の登録審査を受け、認証登録されました。その後、順次適用事業所を拡大し、2021年9月現在でシマダヤ(株)及びグループ会社3社11工場が登録範囲となっています。

2020年度の審査では、15部門を対象にヒアリングや現場確認が行われました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から一部の事業所はリモートで審査を実施しました。審査の結果、不適合0件、軽微な不適合1件となりましたが、修正・是正処置計画が適切と認められ、ISO14001:2015の登録継続が承認されました。



規範 5 安全で働きやすい 職場環境の確保に努めます



シマダヤグループでは、従業員が安全で、働きやすい職場環境を確保するため、行動計画の策定や新型コロナウイルス感染防止対策を実施しています。

シマダヤ行動計画の策定

シマダヤ(株)では、仕事と家庭の両立支援及び女性の活躍推進に向けての行動計画を策定し、取り組みを推進しています。

①仕事と家庭の両立支援に向けて

次世代育成支援対策推進法に基づき、柔軟な働き方を推進して従業員が仕事と家庭の両立を図ることができるよう、以下の行動計画を実施しています。

計画期間	2021年4月1日から2025年3月31日までの4年間
目標	計画期間内に、育児休業の取得状況を次の水準にする 男性社員: 3人以上の取得 女性社員: 取得率100%の維持

②女性の活躍推進に向けて

女性活躍推進法に基づき、女性が継続して就業し活躍できる雇用環境の整備を行うために、以下の行動計画を実施しています。

計画期間	2021年4月1日から2026年3月31日までの5年間
目標1	計画期間内に、全社員に占める女性の割合を27%以上とする
目標2	計画期間内に、男性の平均勤続年数に対する女性の平均勤続年数の割合を70%以上とする

新型コロナウイルス感染防止対策の実施

シマダヤグループでは、新型コロナウイルス感染防止対策を実施しています。

①感染防止対策の実施

新型コロナウイルス感染防止対策として、入館時の検温、アルコール消毒、うがい手洗いの実施、マスク着用の徹底など、基本的感染防止対策を実施しています。また、各事業所の対面デスクや応接室に卓上パーテーションを設置し、飛沫感染を防止しています。

更にシマダヤ(株)では、在宅勤務(テレワーク)や時差出勤、営業部員のシェアオフィス活用などリモートワークを推進し、事務所内が密にならないよう取り組んでいます。

②web会議システムの活用

グループ内の会議、研修、打合せなど、実施内容に応じてweb会議システムを活用し事業所間の移動や対面での実施を削減しています。また、グループ内だけではなくお取引先様との商談や打合せなどでもweb会議システムを活用しています。

また、シマダヤ(株)本社では、防音リモートスペースを設置し、商談や打合せなどに活用しています。



アルコール消毒の様子



入館時の検温の様子

社員教育・研修の実施

シマダヤ(株)では、役職や年次に応じて様々な教育・研修を実施しています。2020年度は、従来集合研修で実施していた新入社員フォローアップ研修や、昇格者研修などをリモートで実施しました。また、eラーニングによる教育として、役職にあわせて企業会計やファシリテーションスキルなどの講座を受講しました。

ストレスチェックの実施

シマダヤグループでは、従業員に自身のストレスへの気づきを促し、メンタルヘルス不調の未然防止を目的とし、2016年度より1年に1回ストレスチェックを実施しています。ストレスチェックの結果、一定水準以上のストレス値となり、医師による面談が必要と判断された従業員から申し出があった場合は、医師との面談を実施しています。また、シマダヤ(株)では、24時間対応可能な健康相談ダイヤルを設置し、メンタルヘルスや健康状態のほか介護や育児の相談もできるようにしています。

規範 6 よき「企業市民」として積極的に社会貢献活動を行います



シマダヤグループでは、清掃活動やAED設置など、地域社会への貢献活動を実施しています。

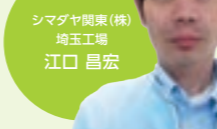
地域清掃活動の実施

シマダヤグループでは、地域貢献及び環境意識の向上として事業所周辺の清掃活動を定期的に実施しています。また、個人やグループでも地域の清掃活動に参加し、地域社会に貢献しています。



周辺道路の清掃活動を行っています

シマダヤ関東(株)埼玉工場では、週に1回総務部のメンバーが交代で工場周辺の道路と従業員の駐車場の清掃活動を行っています。歩道には煙草の吸い殻や空き缶などが落ちています。今後も地域貢献、総務部員の意識向上のため活動を継続してまいります。



シマダヤ関東(株) 埼玉工場 江口 昌宏

事業所へのAED設置

救急車が到着するまでの数分間に、心臓突然死の主な原因とされる「心室細動」を取り除き、心臓の動きを正常に戻すために有効な器械である『AED (自動体外式除細動器)』を各事業所に設置しています。設置していることを示すステッカーを外部へ向け貼り出し、近隣での緊急事態発生にもすぐ対応できることをお知らせしています。



第三者意見

博士 (総合政策)、サステナビリティ消費者会議代表

古谷 由紀子氏

プロフィール

- 博士(総合政策)、サステナビリティ消費者会議代表、中央大学経済研究所客員研究員(2019年~)。(一財)CSOネットワーク代表。
- 企業の品質、コンプライアンス、デジタルトラスト、サステナビリティ等委員会の社外委員。
- 消費者庁、総務省、経済産業省等の審議会や検討会に参加。
- 主な著作物には、「消費者志向の経営戦略」芙蓉書房出版(2010年)、「現代の消費者主権」芙蓉書房出版(2017年)、「企業の消費者教育の意義と責任」日本経営倫理学会(2017年)、「『責任あるビジネス』における実践と課題—国際合意・基準からの考察—」日本経営倫理学会(2020年)など



新型コロナウイルス感染症の拡大は昨年を引き続き、企業にも消費者にも大きな影響を及ぼし続けています。貴グループでは、困難な環境変化を克服し、増益を確保し、食品メーカーとしてフードロスや健康への寄与などSDGsに関わる取り組みを進展させてきました。今年は90周年を迎え、貴グループがより発展していくために、コメントいたします。

安全・安心な商品を届けた90年

貴グループでは、消費者に安全・安心な商品を届けるために、研究所の開所、包装技術の特許取得、「クリーン&コールドシステム」の実現、HACCP導入、トレーサビリティシステムの構築、FSSC22000認証取得など、たゆまぬ努力を続けてこられました。今後も引き続き消費者に安全・安心を提供し、コロナ禍によって食環境などの暮らしの変化に向き合う消費者に寄り添い、貴グループならではの取り組みを期待します。

シマダヤグループ行動規範に沿ったSDGsの取り組みの深化へ

さまざまな社会・環境課題に対して、今年もシマダヤグループ行動規範に沿った取り組みの紹介、更にはSDGsと関連付けた持続可能な社会への取り組みを示しています。

SDGsは2030年までの目標であり、その理念である「誰一人取り残さない」を実現するためには、大きな変革が必要となります。

まず、今、先進国や途上国を問わず、世界中の人々の安全を脅かす気候変動問題への積極的な対策を期待します。日本でも昨年、菅首相による2050年、カーボンニュートラル、脱炭素

社会を目指すと言明し、多くの企業が脱炭素社会に向けた取り組みを行っています。貴グループでも、これまでの食品ロス削減や省エネなどの地球環境問題への取り組みをもとに、カーボンニュートラルに向けた目標設定なども検討されてはいかがでしょうか。

また「働きやすい職場環境の確保」については、女性活躍推進や新型コロナ感染防止対策も進められていますが、「誰ひとり取り残さない」という人権尊重の理念をもとに、これまでの取り組みを深化させ、国際基準なども参考に多様性や個人を尊重した職場環境づくりを行っていくことを期待しています。

サステナビリティの観点でのガバナンス強化へ

現在、コーポレートガバナンス・コードの改定やESG投資の活発化など、ガバナンスには企業価値だけではなく、社会的価値にもつながるサステナビリティを意識した取り組みが求められています。貴グループでもサステナビリティの観点での体制構築や長期戦略、更にはリスク管理などガバナンスの強化を期待しています。

第三者意見を受けて

古谷様には、今年度も貴重なご意見を頂き厚く御礼申し上げます。2020年度は新型コロナウイルス感染症という今までに経験したことのない大変厳しい環境の中で事業活動を進めてまいりましたが、未だにコロナ禍の影響は厳しさを増している状況です。そのような状況下で当社グループは3年間の中期環境目的・目標の2年目の取り組みを進捗させてまいりました。そして2021年度の創業90周年の中期経営計画最終年度に合わせた中期環境目的・目標達成に努めております。消費者の皆様へ安全・安心で価値ある商品を提供し続けていくために、ステークホルダーの皆様へ支持される活動をしていきたいと思っております。次期中期環境目的・目標はSDGsへの取り組みを深化させるべく検討しており、ご意見の中にあられますカーボンニュートラルに向けた目標設定やサステナビリティを意識した当社グループとしての取り組みについても検討していきたいと考えております。



シマダヤ株式会社 専務取締役 人事総務部長 (環境管理責任者)

相馬 紳一郎